

Japa Newsletter (毎月1日発行)

～社会課題 X イノベーション X 地方創生～



INDEX

1. コラム「論点提起」：「個」「組織」の矜持や如何
2. キュレーション：社会課題×イノベーション×地方創生
3. 寄稿：レジリエントライフプロジェクト始まる (林 春男 京都大学名誉教授)
4. 解説：ふるさと納税制度の改正 (丹野光明 Japa 理事、元日本政策投資銀行)
5. 読者の声
6. Blog 仕組みの群像：秋の海 (みなと横浜) と山 (天覧山・多峯主山)
7. 「Japa 新型コロナウイルス感染症特設コーナー」の今月のpickup 情報
8. Japa 及び連携団体からのご案内
9. つばやき (編集後記に代えて)

注：担当執筆者名の記載のない項目は、編集発行人（芝原 靖典）による。

※ 本 Newsletter は Japa 日本専門家活動協会が毎月1日に発行する会員及び関係者向けの newsletter です。
3ヶ月後に当協会の HP <https://japa-fellowlink.wixsite.com/japa/newsletter> にて公開。

第18回 Japa フォーラム開催案内・参加申込受付中！

- 開催日時：2023年12月5日（火） 17：15～21：00
- 開催場所：NEC 三田ハウス芝倶楽部 3階 301号室（住所：東京都港区芝五丁目21-7）
- 討議テーマ：専門家・連携団体のコレクティブインパクトをいかに興すか！
- 参加申込：Japa 日本専門家活動協会の HP <https://japa-fellowlink.wixsite.com/japa> より、**事前登録**をお願い致します。【参加費：会員3千円、非会員4千円】

Japa 開設・運営「新型コロナウイルス感染症 特設コーナー」

<https://japa-fellowlink.wixsite.com/covid-19>

コロナ禍発生（2019年12月）以降の国内外の関連情報を8つのカテゴリー分類（感染状況、時系列事象、参考情報、影響分析・提言等、文献・歴史、お役立ち情報、関連サイト）別に、時系列で、タイトル・URL・情報概要を整理（キュレーション）し、アーカイブしています。5類移行後もフォロー中です。ご活用ください。



Japa 設立・事務局「大磯地方創生事業推進コンソーシアム」（略称：大磯コンソ）

<https://www.oiso-conso.com/>

大磯コンソは、大磯町（神奈川県）をフィールドとして、地域課題解決型の新たな価値創造（イノベーション）と持続的な地方創生のためのプロジェクトを実践したい都市企業/ベンチャー/スタートアップ/起業者と地元関係者（地元企業/NPO等）がオープンに習い合い、連携し、繋がりを広げつつ、共創するプラットフォームです。都市企業等の参加をお待ちしています。



専門家個人が専門家として
居場所を得て活躍できる社会づくりをめざして

Japa 会員・連携団体 募集中！

Japa は、より多くの方々が会員として習合・連携・共創できることをめざして、ならいあひ 会員及び関係団体を随時募集しています。お問合わせ・入会をお待ちしています。

入会案内：<https://www.japa.fellowlink.jp/admission>



1. コラム「論点提起」：「個」「組織」の矜持や如何

昨今、再エネ汚職事案、日大アメフト部事案、ビッグモーター事案、ジャニーズ事務所事案、その他にも諸々、「個」と「組織」並びに「組織」と「組織」の関係性、「コンプライアンス」「ガバナンス」「リスクマネジメント」等々について、考えさせられる事案が頻発している。

参考：再エネ疑獄の本質 「政府の失敗」回避を 産経新聞社 月刊「正論」2023年11月号（2023年9月29日発売）掲載 https://cigs.canon/article/20231027_7720.html
 コンプライアンス専門家が読み解く、ジャニーズ事務所の「失敗の本質」 2023年09月15日19時54分 Newsweek <https://www.newsweekjapan.jp/kitajima/2023/09/post-28.php>
 日本大学への国の補助金 異例の3年連続全額不交付決定 2023年10月23日22時06分 NHK <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20231023/k10014234671000.html>

社会的規範>法制度>組織内規定等の遵守という「個」「組織」それぞれに要求される社会との関係性を意識したコンプライアンス、そして「組織」「社会」としての意思決定・管理運営の健全性・レジリエンスの確保のためのガバナンス、そしてそれらのリスクマネジメントが不可欠である。しかし、特に、バブルが崩壊した1990年以降の成長が止まった日本社会（失われた30年）において、リスクマネジメントが欠落し、ガバナンス不全が起り、組織の不健全化・不活性化・低迷・崩壊を励起し、それを無理やり阻止せんがためのコンプライアンス違反が続発している。「忖度」し、事実を適時的確に報じない「マスメディア」の劣化がそれを加速させている。結果して、その流れを誰もとめられないまま、ゆでガエル状態で日本の衰退を招来している。

その理由の一つとして、「個」「組織」それぞれにおける「矜持」のなさがあるのではなかろうか。こうした思いの時、「映像の世紀バタフライエフェクト零戦 その後の敗者の戦い」（NHK 1/23放送、10/25再放送、NHK+配信期限：11/2(木)午前0:34 まで https://plus.nhk.jp/watch/st/g1_2023102516577）の再放送を観て、改めて、「個」（零戦開発技術者）としての矜持、「組織」（日本海軍）としての矜持のなさ（怠慢）を見せつけられた。堀越二郎が最後に関わった戦後日本の唯一の国産旅客機「YS11」<https://ja.wikipedia.org/wiki/YS-11> は自宅近くにある所沢航空記念公園に実機が野外展示 https://www.go2park.net/photo/kokukinen_ys11.html されており、身近に感じる。

世界のデジタル社会化における「敗者」<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00148/041500169/> になった日本の今後の戦いに向けて、「個」「組織」としての「矜持」をいかにして持ち続け、「個」を尊重して柔軟に「組織」化できるかが問われていることに思いが至る。番組の中で、堀越二郎（1982年没）が「解明されている分野と、未知の分野との境界線を歩いている技術にこそ進歩があるわけで、絶えず失敗を恐れているのではなく、勇気と挑戦こそが必要でしょうね。」と語る言葉が腑に落ちる。「絶えず失敗を恐れている」ことは真のリスクマネジメントをしていないことの裏返しであり、いまもって続いている。矜持を持ってリスクテイクし、それが失敗しても許容し、更に次に繋げていくことが普通になる社会づくり、人づくりが今こそ問われている。

コロナ禍、ウクライナ侵攻、イスラエル・ハマス衝突、デジタル技術の更なる進化等々、世界が大きく変容しようとしている今、日本の「個」「組織」が「矜持」を持ち「自律」できるか如何。

2. キュレーション：社会課題×イノベーション×地方創生

[地域・社会・地球課題]

- ▼洪水危険地域への居住地拡大、世界各地で進行 2023.10.09 Forbes JAPAN 2023.10.09 <https://forbesjapan.com/articles/detail/66541>
- ▼「日本の居心地の悪さ」はどこから来るのか?... 養老孟司が《日本のひずみ》について語った 2023.10.01 現代ビジネス 前編 <https://tinyurl.com/yu9dq3ks> 後編 <https://tinyurl.com/ypx3ngn7>
- ▼なぜ少子化は止められないのか ~課題設定に誤りはないか~ 2023年10月4日 (株)日本総合研究所 <https://www.mof.go.jp/pri/research/seminar/fy2023/lm20231004.pdf>
- ▼いかに少子化社会から脱却するか 政策共創の場 No.3 NIRA 総合政策機構 2023.10.27 <https://www.nira.or.jp/paper/policy-co-creation/2023/03.html>

[知・技術・イノベーション]

- ▼【祝ノーベル賞】mRNA ワクチン開発の立役者、カリコ博士が語ったこと 2023/10/2 NewsPicks <https://tinyurl.com/ypmh5n8t>
- ▼科学者は政策形成にどう貢献しているのか?—公衆衛生における「科学-政策インターフェイス」について 2023.10.05 SYNODOS <https://synodos.jp/opinion/science/28954/>
- ▼研究時間は全体の1割 日本若手研究者が直面する、厳しすぎる現状 10/7(土) 9:01 Yahoo!Japan ニュース <https://tinyurl.com/yqykh6tu>
- ▼日本の研究はもはや世界クラスではない - これがその理由だ 2023年10月25日 nature <https://www.nature.com/articles/d41586-023-03290-1>
- ▼地方国公立大、深刻な財政難に直面 教育研究費20年で3分の1になった教授「大学全体にお金がない」 2023/10/22/ 10:30 AERAdot <https://dot.asahi.com/articles/-/204222>

[地方創生・日本創生]

- ▼「動く市役所」で遠方の市民や移動困難者の利便性向上、笠間市 2023.10.11 新・公民連携最前線 https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/news/101003097/?n_cid=nbpprj_mled_ppp
- ▼地域特性を生かした地域創生 2023/10/11 財務総研オンライン講演会 <https://www.mof.go.jp/pri/research/seminar/fy2023/lm20231011.pdf>
- ▼官民共創をカタチにする3つの視座 青森大学社会学部 准教授 石井重成 東北活性研Vol. 53(2023秋季号) 2023.10 https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2023/10/vol.53_05.pdf

[ライドシェア]

- ▼ライドシェアは「過疎地域」こそ必要だ! 私が“とにかく反対”のタクシー労組にいささかも同意できないワケ 2023.10.3 Merkmal <https://merkmal-biz.jp/post/49566>
- ▼ライドシェア解禁、河野太郎氏にタクシー業界が激怒! 「断固阻止」を決議 2023年10月6日 06:56 自動運転ラボ https://jidouten-lab.com/u_43480
- ▼ライドシェアに反対相次ぐ 自民議連「安全面で懸念」 2023/10/17 共同通信 <https://nordot.app/1086933064474035029?c=302675738515047521>

3. 寄稿：レジリエントライフプロジェクト始まる (林春男 京都大学名誉教授)

令和5年3月末で防災科学技術研究所 理事長を退任して、4月からは防災科研が出資するI-レジリエンス株式会社（以下、I-レジリエンス）で顧問を務めている。顧問としての仕事の中心は「レジリエントライフプロジェクト」である。このプロジェクトは、昨年末から準備を進め、関東大震災から100年を機に、どのようなリスクも乗り越え、もっと豊かになる100年を目指す「レジリエントライフプロジェクト」として去る2023年9月1日（金）始動した。このプロジェクトには、I-レジリエンスに加えて、9法人が参画している。

1. レジリエントライフプロジェクトとは

レジリエントライフプロジェクトでは、私たちを取り巻く世界に存在するさまざまなリスクと向き合う新しいライフスタイルを提案している。近年の気象の極端化がもたらす風水害の甚大化や広域化だけでなく、世界情勢の変化やテクノロジーの急速な進展により、社会そして生活環境は大きく変化している。急激な変化の中で、コロナ感染症のように社会に起因するリスクや、心身の健康やキャリア形成などに関する個人に起因するリスクが生み出す困難も、日常的に多く存在している。それに加え人口減少や高齢化の進展、食料やエネルギー自給率低下なども進行し、我が国の将来を危うくしている。こうした日本において、豊かな生活を今後100年間実現していくためには、人生で遭遇するさまざまな困難に立ち向かう力としてのレジリエンスを高めることが急務である。

ここで言うレジリエンスとは、自然災害だけでなく、社会、そして個人に起因するリスクまで、あらゆるリスクが生み出す困難に対して適応し、困難から回復し、その教訓を得て成長し、将来の困難を予防できる、というサイクルを繋げる力と定義している。この力を伸ばすため、I-レジリエンスが主体となり、企業や研究機関との共創型プロジェクトとして、①各種メディアでの継続的な情報発信、②地方自治体や企業との共助型コミュニティの推進、③商品・サービスの開発と認証、④レジリエントライフに関わる研究開発などのアクションを今後実施していく。関心を持たれた方はぜひHP (<https://resilient-life-project.i-resilience.co.jp/>) を訪ねてほしい。

2. レジリエントライフとは

レジリエントな生き方をしている生活者とはどのようなプロフィールを持つ人なのかをこれまでの調査をもとに紹介しよう。

1) 自分の人生を肯定的に評価している人である。

Seligman (2012) によれば、レジリエントな生き方をしている人は、自分の人生はよい人生だと考えており、①何であれ夢中になれるものがある、②チャレンジングなことをしたい、面白いことをしたい、やりがいのあることをしたい、③周囲の人と良好な関係を持っている、④意味ある人生にしたい、⑤何かを成し遂げたい、と考える人たちである。

2) 日々の暮らしの特徴

三菱総合研究所の調査(2023)では、機能性・合理性、安全安心、環境配慮に価値を置き、健康、家族、財産管理に関心があり、インターネットの活用、料理、贈り物が得意というプロフィール

が浮かぶ。安全・安心や環境をはじめ、さまざまなリスクに配慮して、気に入ったものだけを身の回りに置いて、ムリ・ムダ・ムラなく、充実した毎日を送りたいと考えている人が浮かんでくる。



3. 「地方」とレジリエンス

レジリエントライフでは 9 つの生活領域に着目している。生存にとって不可欠なニーズとして、水、食、エネルギー、住居、衣服の 5 分野を考えている。生活にとって不可欠なニーズとして、職業、医療、教育、娯楽の 4 分野を考えている。レジリエントなライフスタイルを持つ人がこれら 9 つの生活領域でどのような特徴を示すのかをこれから分析していく。自然災害リスクは生存に不可欠な 5 分野に被害を与える。逆に、新型コロナウイルス感染症のような社会的リスクや個人のリスクでは生存リスクではなく、職業、医療、教育、娯楽といった生活の各側面に大きな困難が生じる。何に起因するリスクかによって、生ずる困難にも特色がある。

これら 9 分野の生活領域を考えると、レジリエントライフは地方の方が実現しやすいのではないかと、思っている。「地方」という言葉の反対語は、中央あるいは都市部である。そのため地方は都会と対比して田舎とされる。人は都市に流れ、地方は衰退する。こうした大都市集中の傾向は、産業革命以来一貫して続いてきた人口増加と都市化の流れを踏まえた世界的な傾向である。しかし、新型コロナウイルス感染症が生み出した「New Normal」は、この流れを変えるかもしれない。

その背景にはコロナ禍で、在宅勤務、テレ会議、Eコマースなどの ICT の利活用の進展が生んだ急速な生活の変化がある。どのような状況でも、生存に不可欠なニーズは充足されなければならない。できれば「地産地消」が望ましい。これは地方が都会よりも勝っている。一方、都会が地方に勝っている職業、医療、教育、娯楽といった生活に必要な分野は、ICT の恩恵を受け質の高いサービスがグローバルに展開可能になってきている。そこでは「国」という枠は不要かもしれない。いわんや大都市はもっと必要ないかもしれない。今後の社会のあり方として、自律・分散・協調社会が議論されている。その具体的なイメージは、自然豊かなところで高度に ICT を活用したレジリエントなライフスタイルを持つ人が多く住む「地方」ではないだろうか。地方でレジリエントライフスタイルを持つ人を増やす努力をしていきたいので、ご協力をお願いしたい。

4. 解説：ふるさと納税制度の改正 (丹野光明 Japa 理事、元日本政策投資銀行)

2008年5月に菅前総理が総務大臣の時に「ふるさと納税制度」が創設されたが、以前から各方面から指摘されていた返礼品の競争合戦のような制度本来の趣旨を逸脱していたことに対し、この10月からの納税から一部見直しが行われることになった。既に2019年6月に総務省は寄付金額に対する返礼品の金額の割合を上限30%にしているが、今回、返礼品と事務経費等も含めて5割以下とされた。主な改正内容は次の通りである。

- ① 募集に要する費用について、ワンストップ特例事務や寄付受領証の発行などの付随費用も含めて寄付金額の5割以下とする。
- ② 加工品のうち熟成肉と精米について、原材料が当該地方団体と同一の都道府県内産であるものに限り、返礼品として認める。



出典：ふるさとトレンド 最終更新 2023.09.1

https://news.mynavi.jp/furusatonouzei/rulechange_202310

2022年度の「ふるさと納税」の受入額及び受入件数は、いずれも過去最高で前年度の約1.2倍の約9,654億円、約5,184万件となっており、国民にかなり浸透していることが分かる。ただ、「ふるさと納税」の募集に要した費用は、返礼品が送料込みで約3,400億円、事務経費等が約1,100億円と約4,500億円にも上っており、納税額の約47%が税金として使われない状況となっており、異常としか言いようがない。



出典：ふるさと納税に関する現況調査結果 (令和5年度実施) 令和5年8月1日 自治税務局市町村税課

https://www.soumu.go.jp/main_content/000897133.pdf

元々は、自分を育ててくれた「ふるさと」への貢献の意味で創設されたが、現在の制度は大半が「ふるさと」と関係なく、返礼品目当てで、行ったことも見たこともない自治体へ寄附されている。以前、NTTグループの行った調査では「出身地への貢献」のためにこの制度を利用したのは12%程度という状況であり、早急に制度を抜本的に見直し、本来の趣旨に沿うような運用がなされる制度に変更すべきではないかと考える。

5. 読者の声

【読者の声1】奇なる話 千葉市親子三代夏祭り」と「シャンシャンいい旅夢の旅」

(作詞・作曲家 高橋育郎)

きょうの「千葉市政だより」に、千葉の親子三代夏祭りの記事がありました。

それによると「8.19 前夜祭 8.20 本祭り」とありました。

会場は千葉駅前大通りの中央公園です。さて、この祭りに昭和 57 年から 5 年間、毎年「シャンいい旅夢の旅」が、仮設舞台上で歌い踊られました。うたは上園茂、踊は市川社中の皆さんでした。

「シャンいい旅夢の旅」は、国鉄千葉の団体旅行音頭として、私が作詞して、キングレコードの上園茂が作曲。キングから前年に発売されたもので、千葉テレビでは長い間、放送され、有線放送でも放送され、また新聞各社にも紹介され、ファン・クラブも出来て、ヒット曲となりました。

仮設舞台上での歌が終わると、そこに横付けされたオープンカーに上園茂は乗り込み、そのあとを踊の一行が踊りながら、ゆっくりと千葉県庁前までパレードしました。私も後を付いて行きました。

まさに奇跡のような、奇なる話です。

(2023. 07. 26 記)

<p>三 笑う門には サテ福かくる きょうは待っていた お座敷列車 ビデオカラオケ チョイと囲碁将棋 唄が上手で 躍り上手 ほんに手拍子 ほんに手拍子皆の衆(ソレ) シャンシャンシャンといて シャンとかえる シャンシャン いい旅 夢の旅</p> <p>唄 上園 茂 三味線 豊 寿 豊寿由記 唄ばやし 西田和江社中 尺八 竹井 誠 振付踊り 花柳旭 キングオーケストラ</p> <p>昭和56・2(1981) キングレコード全国発売 千葉鉄道管理局 日本交通公社 日本旅行 東武トラバール推薦</p>	<p>二 歌は世につれ 世は歌につれ きょうは嬉しい 温泉旅行 招くいで湯に チョイと誘われて 音頭とる手も 音頭とる手も ほんにほろ酔い ほんにほろ酔い上機嫌(ソレ) シャンシャンシャンといて シャンとかえる シャンシャンシャンときて シャンともどる</p>	<p>一 旅は道づれ サテ世は情け きょうは楽しい 団体旅行 走る列車の チョイと心地よさ みんなそろって みんなそろって ほんに笑顔の ほんに笑顔の花が咲く(ソレ) シャンシャンシャンといて シャンとかえる シャンシャンシャンときて シャンともどる</p> <p>国鉄団体旅行音頭 シャンシャン いい旅夢の旅 高橋育郎作詩 御園敏行作曲 川上英一編曲</p>
--	--	--

6. Blog 仕組みの群像：秋の海（横浜）と山（天覧山）

ようやくというか、熱い夏が終わり、一気に気温が下がり、昼間は心地よい秋を、そして朝夕は冬さえ感じる季節になる中、横浜港に停泊する観光船での懇親会に参加し、「みなと横浜」を味

わい、1日おいて今度は、近くの山（^{てんらんざん}天覧山・^{とおのすやま}多峯主山）で秋を味わう機会があり、ブログにアップしました。

▼Blog 仕組みの群像 <https://shikumi-gunzo.hatenablog.com/>

7. 「Japa 新型コロナウイルス感染症特設コーナー」の今月の pickup 情報

<https://japa-fellowlink.wixsite.com/covid-19>

- ▼ノーベル生理学・医学賞受賞 mRNA ワクチンが日本にもたらした波紋 2023.10.7 日経ビジネス <https://business.nikkei.com/mail/saturday/?Date=2023100708>
- ▼「ゼロゼロ融資」利用後の倒産 2023 年度上半期は 333 件 2020 年からの累計は 1,077 件に達する 2023/10/10 東京商工リサーチ https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198056_1527.html
- ▼コロナワクチンは「年 1 回のインフルワクチンのようなものに」 米 CDC や科学者が最新のワクチンの接種を推奨する根拠とは 2023.10.11 NATIONAL GEOGRAPHIC <https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/23/101000518/>

8. 連携団体及び Japa からのご案内

▼連携団体「(一社)レジリエンス協会」の「定例会」のご案内

○定例会テーマ：「イノベーションとレジリエンス」

○日時：11 月 30 日（火）13:15-16:30

○場所：日比谷図書文化館セミナールーム B / オンライン (Zoom) ハイブリッド

交通アクセス <https://www.city.chiyoda.lg.jp/shisetsu/toshokan/hibiya-tosho.html>

※会場定員の都合上、会場での対面参加を希望される方は、申込フォームのコメント欄に「会場参加希望」とご記載ください。

○招聘講演：奈落を楽しむ～元祖ソニーの人づくり～

(株)ワンダーワークス 代表取締役 田村慎吾 様

略歴 早稲田大学理工学部(ロボット)卒業。ソニー38年、大学講師。

企業顧問歴 30社、日本創造学会前会長。

ソニー井深大伝承者、二宮尊徳研究家。

○詳細及び申し込み：<https://resilience-japan.org/mtg20231130/>

▼Japa の会員募集

Japa は、会員 [正会員、一般会員]、連携団体を随時募集しています。

※ 正会員：入会金 1 万円、年会費 1 万円 一般会員：年会費 3 千円

お問い合わせ先：Japa 事務局 info@japa.fellowlink.co.jp

9. つぶやき（編集後記に代えて）

藤井聡太八冠が誕生した。14 歳 2 ヶ月という史上最年少での四段昇段後、数々の史上初・史上最年少といういろんなことを成し遂げ、この度の 21 歳での八冠達成である。当然ながら、年齢的にまだ成長途上であり、今後ますますの進化が期待されている。AI を本格的に研究用に活用しながら成長し、いまや「AI 超え」と云われる域に達していると評されている。人間の頭脳の創造力の凄さ、奥深さを見せつけている。誠にもってすごい。こうした創造性のある頭脳をもった「人」

が政治・行政・企業にも現れて欲しいものであるが、ストイックに努力し続け、集中できる人が何処にいるか、・・・。

参考：「6億手読む棋士」藤井八冠誕生の裏に将棋AI凌駕する“魔の一手”AI開発者杉村氏が驚嘆する勝率1%からの逆転劇 Mr.サンデー FNNプライムオンライン 2023年10月26日 木曜 午後6:44
<https://www.fnn.jp/articles/-/605683>

編集発行人：Japa 日本専門家活動協会 代表理事 芝原靖典

問合せ・連絡先：info@japa.fellowlink.co.jp

発行元：Japa 日本専門家活動協会 <https://japa-fellowlink.wixsite.com/japa>

Copyright © 2023 Japa 日本専門家活動協会